



# LINE ミニアプリ

「モバイルオーダー」の  
スタートガイド



# LINEミニアプリで さまざまな課題を解決

国内利用者数9,300万人(2022年9月末)のLINE上でサービス提供できる「LINEミニアプリ」なら、自社アプリやWebブラウザ、スタッフ対応など、サービスを提供する際に発生するさまざまな課題の解決を見込めます。

LINEがあれば簡単登録&利用可能



すぐに  
使える

LINEさえあれば  
すぐ・簡単に利用可能

- LINEさえあれば新規アプリをダウンロードせず、すぐ・簡単に利用開始できる
- 店舗のQRコードやWebサイトのURLなど、さまざまな導線からも利用可能



見落とし  
防止

LINEのメッセージで  
確実にユーザーに通知

- ユーザーにとって重要な情報はLINEのメッセージで確実に通知
- 予約のリマインド、順番のお呼出し、商品の完成などを見落としなく通知できる

LINEミニアプリ

LINE公式アカウント



ずっと  
つながる

ユーザーを  
LINE公式アカウントの  
友だちに追加

- LINEミニアプリの利用とともに、ユーザーをLINE公式アカウントの友だちにスムーズに追加。メッセージ配信を通じてユーザーとの関係性をより深める

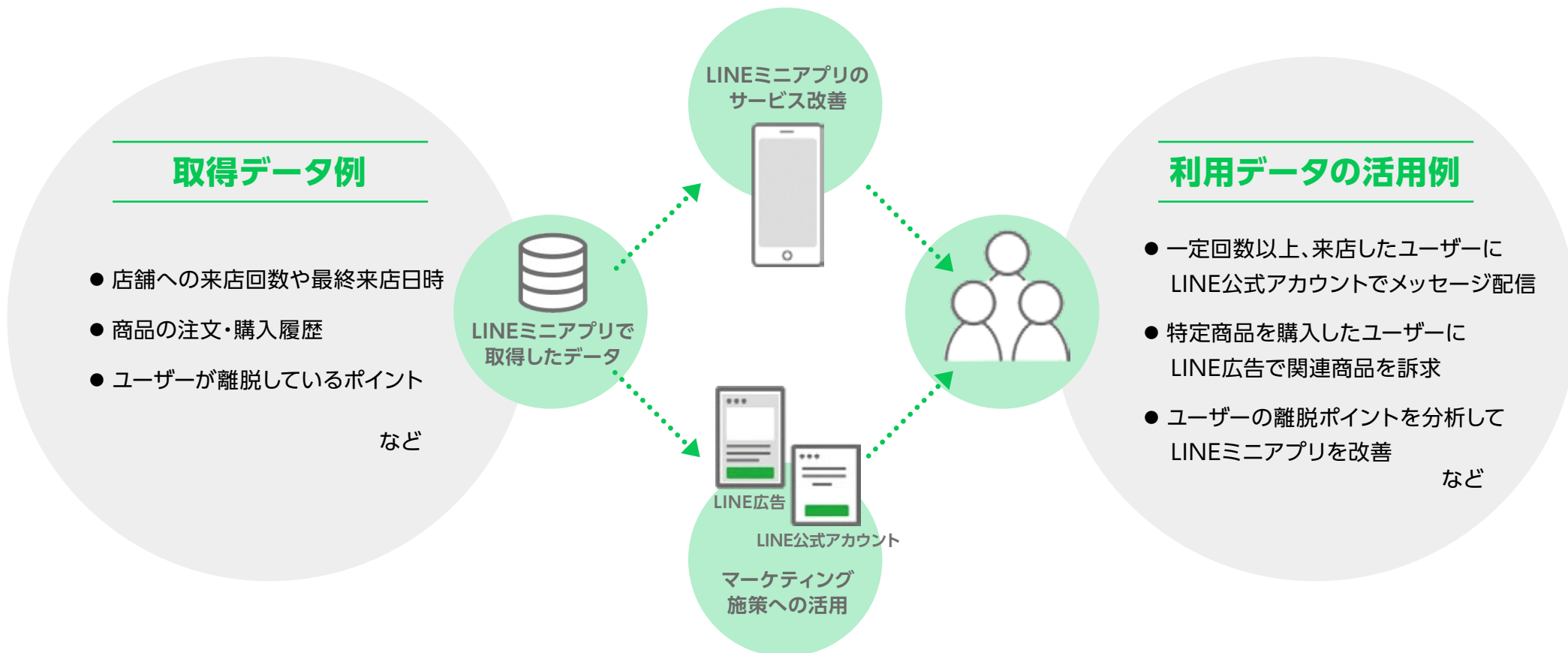
※LINE公式アカウントの友だち追加にはユーザーの許諾が必要です

「LINEミニアプリ」はすぐ・簡単に利用でき、その後のリピートにつなげやすい

# LINEミニアプリの 利用データを活用

LINEミニアプリ上でユーザーが登録した情報や、予約・注文・会員証の提示などの行動履歴を、ユーザーのLINEアカウントに紐づいたデータとして取得可能<sup>\*</sup>。そのデータを基に、LINEミニアプリの運用改善や、さらなる集客・販促につなげられます。

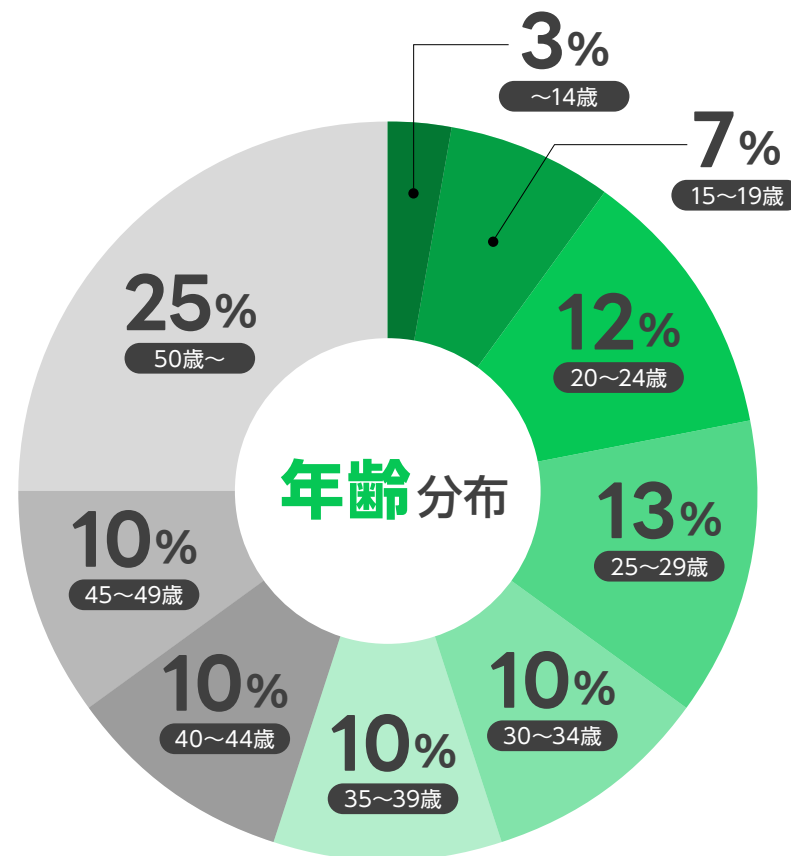
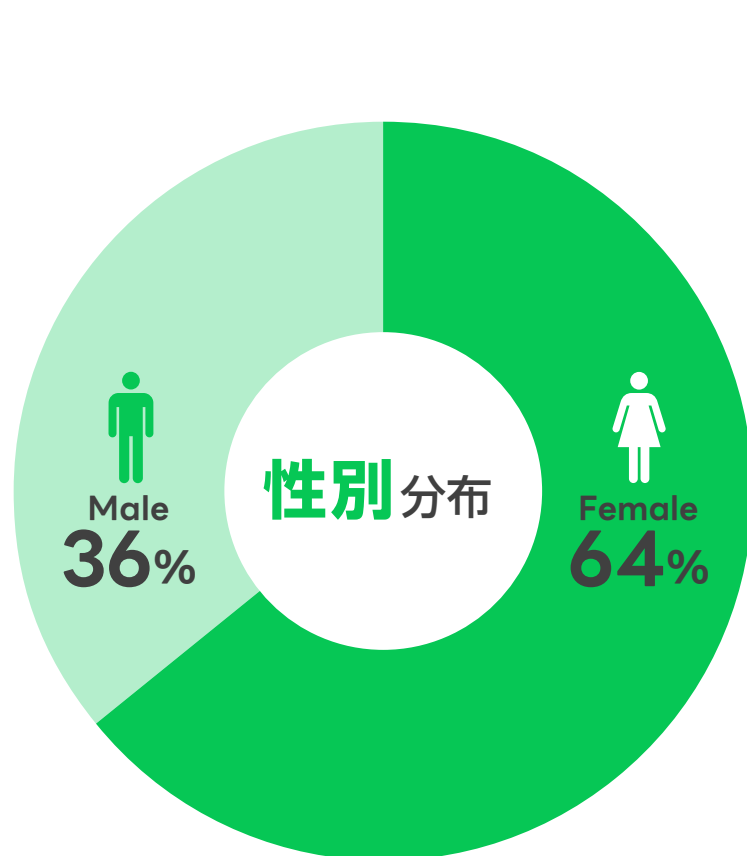
※LINEミニアプリで取得する登録情報や行動履歴などのデータは、利用開始時に利用者の許諾を得た場合のみ使用可能。



LINEミニアプリの利用データを生かして、さらに集客・販促を行うことができる

# LINEミニアプリ 利用ユーザー分布

LINEミニアプリは、LINEアプリ本体のユーザー分布と同じように性別や年齢を問わず利用されています。



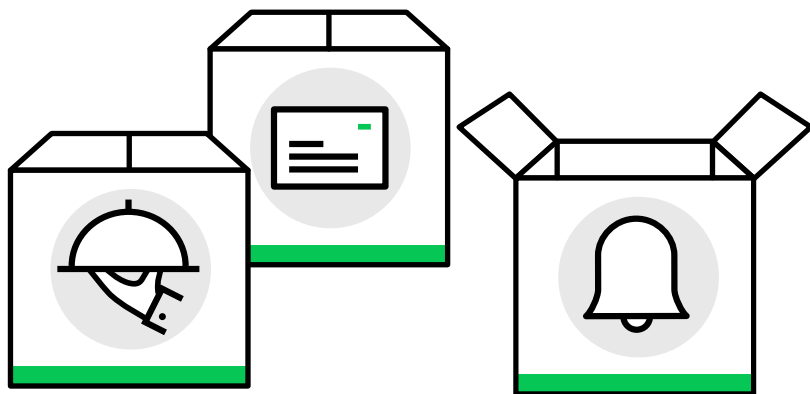
性別や年齢を問わず、多くのユーザーがLINEミニアプリを利用

# LINEミニアプリ 2つの導入方法

LINEミニアプリを導入いただく際は、まず開発会社にご相談ください。大きく分けて「パッケージ」と「個別開発」の2つの方法があります。それぞれの特徴をおさえた上で、貴社に合った導入方法をお選びください。

## パッケージ

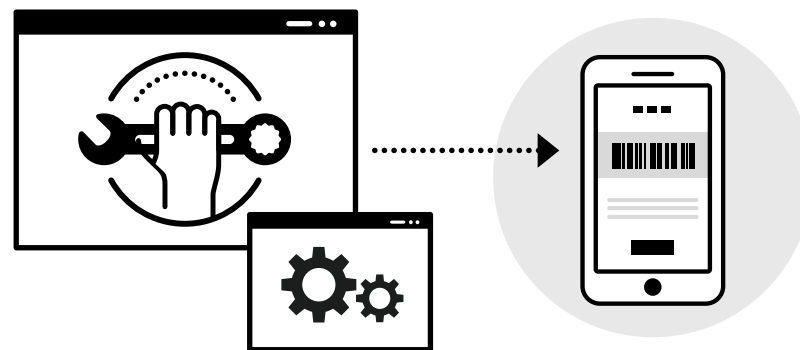
開発会社が提供している  
LINEミニアプリを導入する方法



まずは  
こちらが  
おすすめ

## 個別開発

開発会社が貴社だけの  
LINEミニアプリを開発する方法



### メリット

- パッケージ化されているためすぐに導入可能
- 初期費用+月額費用のみで安価に利用できる

### デメリット

- パッケージ化されている以外の機能は追加開発(別料金)  
※詳細は各開発会社にご相談ください

### メリット

- 自社用に最適なサービス設計が可能
- 既存システムとの連携もスムーズに対応

### デメリット

- パッケージ利用に比べて費用がかかる可能性がある
- 開発に時間がかかる場合がある

# 「モバイルオーダー」のLINEミニアプリ

パッケージ販売されているLINEミニアプリの中で、特にご要望の多い「モバイルオーダー」について紹介します。

## こんなお困りごと、ありませんか？

店内でご飲食されるお客さまに注文を伺う際、衛生面で万全を期すためにスタッフとお客さまが接触しないようにしたいです。どのようなお客さまにも手軽に利用いただけるオーダーシステムがあればいいのですが……。



テイクアウトやお弁当を事前に予約いただき、お店には商品を取りに来るだけというオペレーションが整えば、お客さまとスタッフ両方にとって効率的です。何か良いサービスはありませんか？

## 「モバイルオーダー」のLINEミニアプリについて

店内での飲食を希望するユーザーがテーブルに着いたのち、QRコード\*を読み込むだけで注文ページが立ち上がり、商品を簡単にオーダーすることができます。「モバイルオーダー」のLINEミニアプリは、利用にあたってユーザー情報を入力してもらう煩わしい作業が不要で、どのような年代層のお客さまでも簡単に使えます。テイクアウトにも活用でき、店舗の営業スタイルに合わせたサービス導入が可能です。



## おすすめの「モバイルオーダー」パッケージ(一部抜粋)

### ダイニー

ダイニーの「モバイルオーダー」LINEミニアプリを使えば、ユーザーは簡単に注文を、店舗側はシンプルな管理画面で掲載メニューをすぐ、簡単に変更できます。さらに、自社のLINE公式アカウントのスムーズな友だち追加も可能です。



株式会社dinii  
<https://line-marketplace.com/jp/mini-app/dinii>

### CX ORDER

CX ORDERは「5秒で会員登録、20秒で注文完了」をコンセプトに、店舗独自のモバイルオーダーLINEミニアプリ(モバイルオーダー・テイクアウト・デリバリー)を提供可能です。パッケージ、個別開発など多くの提供実績を有しています。



クラスメソッド株式会社  
<https://cxorder.jp/lp/>

\*QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



# ムゲン食堂 京都河原町店 (株式会社Glidge)

事例 1

所在地/京都府京都市 業種/飲食店 開発企業/株式会社dinii

## 目的

- ユーザーとスタッフの接触減少、業務オペレーションの改善、ユーザーロイヤルティの向上などを図りたい

## 施策

- LINE上からユーザーが簡単に商品注文できる「モバイルオーダー」のLINEミニアプリを導入
- LINEミニアプリの利用開始時、自社のLINE公式アカウントをスムーズに友だち追加する仕組みを導入し、友だちを集客

## 効果

- 全注文のうち、LINEミニアプリ経由の注文が80~90%。業務の効率化が進み、営業に必要なホールスタッフ数は**常時、1名減少**を実現
- LINEミニアプリの導入から1年で、**1万人**の友だちを獲得
- ユーザーの**来店・注文歴をハンディ端末から確認**できるようになった

## 利用イメージ

### LINEミニアプリ



LINEミニアプリを起動し、メニューを開く

### LINEミニアプリ



カートの中身を確認し、選択した注文内容を送信

### ワンポイント

### ハンディ端末



来店・注文歴が確認可能

### LINE公式アカウント



すでにLINE公式アカウントからクーポンを配信するなどしているが、将来的には来店・注文歴ごとのセグメント配信も予定



テーブルにあるQRコードを読み取り

# アガリコ餃子楼 新宿小田急ハルク店

所在地/東京都新宿区 業種/飲食店 開発企業/株式会社dinii

## 目的

- 店内でユーザーとスタッフの不要な接触を避けるとともに、来店したユーザーとオンラインでも接点を持ちたい

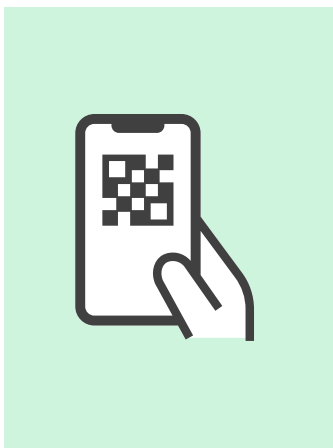
## 施策

- LINE上からユーザーが簡単に商品を注文できる「モバイルオーダー」のLINEミニアプリを導入
- LINEミニアプリの利用開始時、自社のLINE公式アカウントをスムーズに友だち追加する仕組みを導入し、友だちを集客
- スマホを持っていないユーザーには、店舗用のスマホを貸し出して「モバイルオーダー」の利用を促す

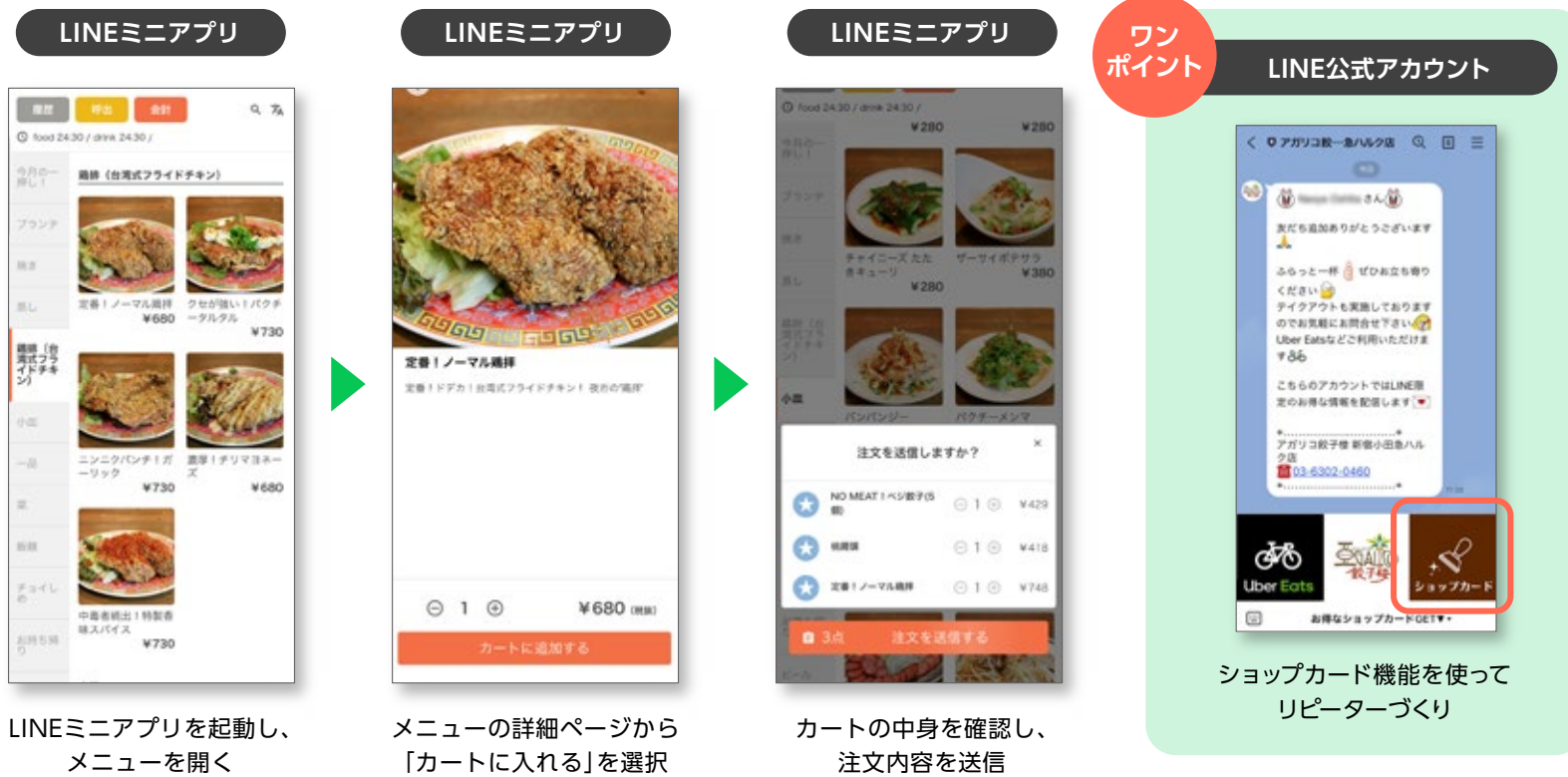
## 効果

- 来店したユーザーの80~90%がLINEミニアプリを利用して商品を注文
- 店内での物理的な接触を減らすだけでなく、ホールスタッフを3人から2人に減らすなどオペレーションを効率化
- LINE公式アカウントの開設後1ヵ月で、約1,000人の友だちを獲得

## 利用イメージ



テーブルにあるQRコードを読み取り





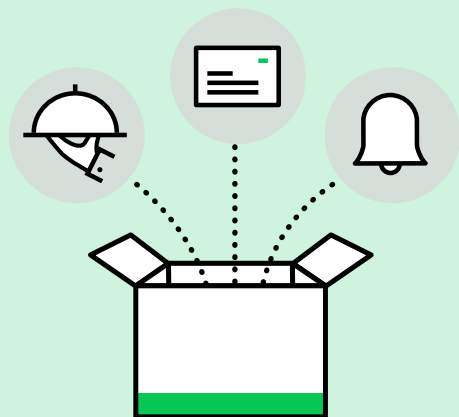
# 導入方法別・リリースまでの流れ

「パッケージ」「個別開発」の場合は、まずは開発会社にお問い合わせの上、各種ステップの対応を進めてください。なお、LINE社側ではLINEミニアプリの開発は行っておりません。



# 導入方法別・お問い合わせ先

ご希望の導入方法に沿って、下記の情報をご覧ください。



## パッケージの導入を希望の方

店内オーダー、会員証、順番待ち・呼び出しなど  
LINEミニアプリのパッケージを下記より導入いただけます。

<https://lin.ee/kWak0Qh/cmpn>



※認定パートナーのパッケージのみ掲載しています。



## 個別開発を希望の方

リンク先にあるLINEミニアプリの開発会社の情報を参考に、  
直接お問い合わせください。

<https://lin.ee/aiMyjRo/cmpn>

